

令和 7 年第 7 回真庭市教育委員会会議録

会 議 種 類	定例会	
開 催 年 月 日	令和 7 年 6 月 1 8 日（水）	
開会及び閉会 時 刻	開会時刻	9 : 3 0
	閉会時刻	9 : 5 0
場 所	真庭市役所教育委員室	
会議録署名者	教 育 長 三ツ 宗宏	
	署名委員 和田 ひろみ	
会議録作成者	教育総務課 係長 矢萩 志保	

1 出席委員

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	三 ツ 宗 宏	
教育長職務代理者	常 本 直 史	
委 員	徳 山 周 一	
委 員	高 谷 絵里香	
委 員	和 田 ひろみ	

2 出席した者

職 名	氏 名	備 考
教 育 次 長	浅 野 晃 彦	
教 育 総 務 課 長	中 川 晃 吉	
学校給食推進室長	三 浦 宮 子	
学 校 教 育 課 課 長	田 中 裕 恵	
生涯学習課課長	福 井 学	
図 書 館 振 興 室 長	佐 藤 弘 敏	
教育総務課係長	矢 萩 志 保	

3 傍聴人

0 名

4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	和田委員
第 3	教育長諸報告	浅野教育次長
第 4	付議事件	
	議案第 1 6 号 真庭市人権教育推進委員の委嘱について	原案可決
第 5	その他	
第 6	閉 会	

5 議事の概要

(9時30分 開会)

○三ツ教育長

これから第7回教育委員会を開会いたします。以下の議事日程に従って進めてまいります。

日程第一教育長挨拶です。急に暑くなりました。子供たちの特段変わった様子は聞いていませんが、熱中症や食中毒等の注意報も出てますので、充分注意しながら、教育活動に従事していただきたいと思っております。

今日は挨拶というか1つ話題を提供したいと思います。スクリーンを見てください。

今日は不登校に関することです。今までもお話ししてきたのですが、学校は一生懸命に支援をしておます。また、大人の数が増え、子どもの数が減って、サポートは以前のことを考えると現実問題として随分充実してるんですね。ただ今の状況ですが、この図を見ていただくと分かるように、かなり急激に不登校が増えています。私は学者ではないので詳しくは分からないのですが、教育政策等と重ねてみると、結構面白い。面白いというより考えることがあります。学習指導要領が変わったり、学力調査が始まったり、コロナ禍があったりってということで、様々な要因はあるんですけども。

ゆとり教育が良いかどうかというのは別問題ですが、少なくとも子供たちの暮らしに、いくらかのそのゆとりの中で生きる力を育もうってということで、取り組んできた時代がどちらかというと、不登校っていうのは急激には増えてはいない。

もう少し見ていくと、これが前年度と比べてどうなのかという前年度比の増減ですがこれを見ると、これも、ほぼ増えたり減ったり。この図のこのあたり、増減してるところがありますよね。これも、教育政策と重ねてみると、こんな形になるんです。ちなみにその当時のこれ全学年を合計した授業時数ですけども、学校の土曜日があった時代は若干入っているかな。

○常本委員

土曜日ですか？

○三ツ教育長

1989 年までなんで土曜日が普通にあったのは。それから週休 2 日に動いていて、一時的に土曜日があったりなかったりした時期があるじゃないですか。ちょうどその頃です。やっぱり考えることあるなっていうのが正直な思いなんです。これは、真庭市の状況です。左側が小学校、右側が中学校。児童生徒数が減っていく中での実数ですから、これは相当増えてるなっていうのは見て取れるかと思うんですが。小学校が、起点をどこにするかっていう問題はあるんですが、平成 27 年からでいくと 4.57 倍。中学校が 1.58 倍。これもかなりの差がある。なんでこんなに急激に不登校増えているのかな？特に小学校今低学年ついに増えてきてるんですけど、どうなのかな？って。

聞いてみると、こども園も結構あるって言ってましたね。

これ、一日の授業時数なんです。一日の授業です。ここには土曜日があった時代もあるんで、計算方式は若干違うんですけども、見てもらったら分かるように、かなり低学年での授業時数っていうのは増えてるんですよ。正解じゃないかもしれないですが、少子化ということは、残念ながら仲間はずれになっていきます。相対的に大人が増えていっていることです。だから学校教育が大きくなるっていうことは、結局学校と家との行き来だけで、子どもたち同士の時間っていうのはだんだんなくなってくる。家に帰ってもこの辺りはそんなでもないかもしれないけれど、習い事と塾。安全安心っていうことがよく言われるんですが、安全神話があまり大きくなると、あれこれ禁止をしてしまって、子どもたちが自由に動ける空間っていうのはなくなってくる。

本来ならば、一番幸せな子ども時代ですね。そこを生きる上での、余白が喪失されているっていうのは、我々大人は本気考えていかなければならないのではないかということなんです。だいたい、大人でも子供でも楽しいことがあると、少々しんどいことがあっても自己調整できるじゃないですか。その時間が

なくなっているのは、これからの、教育だけではないですが、子ども、大人の暮らしを考えていく上で本当大事なのではないかということで、今日は話題提供ということで話をさせていただきました。

余談ですが、私が課題意識と思っていたのが、この不登校の問題は、データを取ったといっても、数年を取って、だいたい増えた、減ったと言うんですね、五年ぐらいを。それでは見えてこないのではないかと、ずっと思っていました。この社会というものがどのように、社会背景なんかも入れていくと、例えば小泉構造改革がどうのこうのとか、自己責任がどうのこうのとかっというようなことまで入れていくと、もっと明らかになってくるのではないかなと思うのですけれども、そのように長期的スパンでものを考えていかないと、対処対応だけに追われて、結局学校も家も親もみんな苦しくなって終わってしまうという危惧がある。そのあたりのところで、何ができるか分かりませんが、考える上で大事にしたいということで、今日時間をいただいております。

今日も色々なことについてご審議いただきますが、よろしくお願いします。

日程第二です。署名委員の指名ですが、今日は和田委員さんをお願いします。

○和田委員

はい。

○三ツ教育長

続いて日程第三教育長諸報告を教育次長よりさせていただきます。

○浅野教育次長

(資料により説明)

○三ツ教育長

以上、報告させていただきましたが、委員の皆さんからご質問ご意見ありま

すでしょうか？

教職員の事故が若干多い傾向があるので、加害被害とも含めてですが、注意喚起をしているところでありますのと、学校での疲れがたまらないようにということも合わせて、各学校に指導しているところであります。

では続いて日程第四の付議事件です。

議案第 16 号、真庭市人権教育推進員の委嘱についてお願いします。

○福井課長

(資料により説明)

○三ツ教育長

説明がありました。委員の皆さんからご質問、ご意見ありますでしょうか？よろしいですか。それでは、お図りをいたします。議案第 16 号 真庭市人権教育推進員の委嘱について御異議ございませんか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは異議なしということで、原案可決でお願いいたします。

続いて日程第五その他です。委員の皆さんから何かありますか？

では、事務局よりお願いします。

○浅野教育次長

・第 9 回教育委員会 8 月 20 日（水）9：30

○三ツ教育長

よろしいでしょうか。その他事務局より何かありますか。

それでは、以上で教育委員会会議を終了いたします。

(9 時 5 0 分 閉会)